

令和4年度第2回大阪府立福祉情報コミュニケーションセンター
指定管理者評価委員会議事概要

開催日時：令和5年2月2日（木）午後1時30分から午後2時15分

会 場：オンライン会議

出席委員：（五十音順・敬称略）

青木 佳史（きづがわ共同法律事務所 弁護士）

川口 晃司（上本町会計事務所 公認会計士）

河崎 佳子（神戸大学国際人間学部・大学院人間発達環境学研究科 教授）

久保 貞也（摂南大学経営学部 准教授）

黒田 隆之（桃山学院大学社会学部 教授）

会議の概要

- 1 開会
- 2 議事
(1) 令和4年度の評価について
- 3 閉会

主な意見等

基準1 施設の設置目的及び管理運営方針「評価A」

（指定管理者自主評価A、施設管理者評価A）
（質疑等：特になし）

基準2 平等な利用を図るための具体的手法・効果「評価A」

（指定管理者自主評価A、施設管理者評価A）
（主な質疑等）
○建物内外のアクセスのしやすさについてはどうか。
⇒事務局より次のとおり回答
・様々な方法で工夫を検討している。

基準3 利用者に対するサービスの向上を図るための具体的手法・効果「評価A」

（指定管理者自主評価A、施設管理者評価A）
（主な質疑等）
○令和4年11月～12月に実施した利用者アンケートは、前回より回答総数が増えているが、何か工夫したことはあるか。
⇒事務局より次のとおり回答

- ・コロナによる行動制限が一定緩和されたことに加え、今年度は東成区のホームページや広報誌、福祉情報専門誌への広告掲載を行う等、利用者数の増加を図った結果であると考えている。

○利用者アンケートについて、当事者からの回答が少ないように感じた。

⇒事務局より、対応を検討していく旨回答

○利用者アンケートで「ごみ箱の場所が分かりにくい」との意見があったので、工夫が必要であると感じた。

⇒指定管理者より次のとおり回答

- ・ごみ箱については、大きなものを各フロアのエレベーターホール等目立つ場所に設置しているが、ご意見を踏まえ、設置場所の表示等、あらためて検討する。

○行動制限がより一層緩和されてきたことで、今後、さらに多くの方が施設を利用することが考えられるので、アンケートやご意見箱の設置だけでなく、積極的にニーズを拾い上げる方法があってもよいと思う。

基準4 利用者への安全配慮、施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度「評価A」

(指定管理者自主評価A、施設管理者評価A)

(主な質疑等)

○スタッフの感染症対策について、大学や一般企業等でも、誰か1人が感染すると周囲も濃厚接触者となって出勤できないケースが多くあったが、センターにおいては、スタッフの数は充足した状態で運営できていたのか。

⇒事務局より次のとおり回答

- ・センター職員がコロナに感染した場合、まず府へ状況報告いただくことになっている。各団体とも感染者自体は出ているものの、幸いクラスターとなった事案等はなく、指定管理者による日頃の感染症対策の賜物であったと感じている。

基準5 府施策との整合「評価A」

(指定管理者自主評価A、施設管理者評価A)

(質疑等：特になし)

基準6 安定的な運営が可能となる人的能力「評価A」

(指定管理者自主評価A、施設管理者評価A)

(質疑等：特になし)

基準7 安定的な運営が可能となる財政的基盤「評価A」

(指定管理者自主評価A、施設管理者評価A)

(川口委員(公認会計士)による講評)

○全体として、財務状況に著しく問題が生じているとはいえ、指定管理者の自己評価はきわめて妥当。

(質疑等：特になし)

以上